

弘 前 大 学 学 報



冬景色・土蔵のある風景（弘前市梨の木）

第575号
平成12年12月

弘前大学並びに文部省永年勤続者表彰

～本学20名，文部省3名に表彰状と記念品を贈る～

本学永年勤続者表彰式並びに文部省永年勤続者表彰状伝達式が，11月22日（水）に創立50周年記念会館みちのくホールにおいて，部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では，永年にわたり職務に精励されたその功績を称えて，吉田学長から表彰状と記念品が贈られました。

また，受彰者を代表して理工学部教授 本瀬 香 氏から，謝辞が述べられました。

今回，表彰を受けられた方々は次のとおりです。

弘前大学永年勤続者（20名）

経 理 部	土井 正人
教 育 学 部	齋藤 捷一
医 学 部	木村 博人
理 工 学 部	本瀬 香
農学生命科学部	萩原 守
附 属 病 院	羽田 隆吉
	工藤 和子
	藤田あさ子

對馬 均	高垣 啓一	中村 光男
大関 邦夫	田尻 明男	
中村 勝之		
上原子瑞恵	二階千津子	須崎 玲子
山本 葉子	築館 朋子	石岡 恵

文部省永年勤続者（3名）

経 理 部	徳田 次男
学 務 部	平尾 尚澄
施 設 部	江崎 一彦

（敬称略）



式典風景



吉田学長，谷口事務局長を囲んでの記念撮影

弘前大学並びに文部省永年勤続者表彰

エッセイ	—「ロシアの教育」—	倉 又 秀 一 …	2
------	------------	-----------	---

学内ニュース

○ニュージーランドのオタゴ大学と大学間交流協定締結……………	4
○哈爾濱師範大学との大学間交流協定を更新……………	4
○フルブライトメモリアル基金米国教育者視察団が来学……………	5
○平成12年度日本学術会議東北地区会議主催の 「科学者との懇談会」及び「公開学術講演会」開催……………	6
○弘前大学入学試験に関するシンポジウム開催……………	7
○セクシュアル・ハラスメント防止講演会開催……………	7
○平成12年度医学教育等関係業務功労者表彰……………	8

学 事

○外国出張……………	8
------------	---

諸 会 議……………	9
------------	---

人 事

○新任教授紹介……………	11
○人事異動……………	11

主 要 日 誌……………	13
--------------	----

行 事 予 定……………	14
--------------	----

学 内 規 則

○弘前大学医学部附属病院諸料金規則の一部改正……………	14
-----------------------------	----

諸 報

○「弘前大学における教員の任期に関する規則」の制定について……………	15
○弘前大学大鰐山小屋（ヒュッテ）廃止のお知らせ……………	16

エッセイ／ESSAY／えっせい

「ロシアの教育」

倉 又 秀 一

「ロシアの教育はどうなっている?」。10月に弘前大学の姉妹校アメリカのUTMから客員教授として来訪したモッシュ先生に、ロシアから戻ってきたばかりだと話した時に最初に受けた質問だった。

「ロシアの教育は非常にレベルの高いものだったが、あの混乱で今もそのレベルを維持しているのか?」。かつてのスプートニクショックもあってか、アメリカの大学教授のロシアの教育に対する評価は非常に高かった。私は「全体的な状況はわからないが、モスクワ大学に関する限りその教育はそのレベルを維持していると思う。」と答えた。

1995年以来のロシアとの共同研究、1996年には学振の援助で8ヶ月モスクワに滞在した経験などから、ロシア—モスクワ大学の教育についての印象を私の見聞した範囲で述べてみたい。

モスクワ大学は、ロシアの大学の中でトップに位置する大学であるだけでなく、ヨーロッパの大学のランキングでも1位だったり、2位になったりする大学で、モスクワ大学の学長は、ヨーロッパの大学連合の代表でもある。また大学の本館からモスクワの町並みを一望できるモスクワ川の段丘への道の両側に、モスクワ大学の創立者のロモノソフをはじめ、大学に関係のある人の胸像が立っている。その中には、メン

デレエフ、ジュウコフスキー、チェビシェフ、ロバチェフスキー、パブロフなどが含まれている。私の認識できる名前は理系の人間に限られているし、建物が建てられた1950年以後の人は含まれていない。しかし、それだけでも大学の歴史を感じることができる。(メンデレエフは、かつての首都サンクトペテルブルグにあるサンクトペテルブルグ大学の本館の壁にもそのレリーフが飾ってあった。)

このモスクワ大学に入学するには、物理の場合、3・4倍の競争率の入試を突破する必要がある。何かとコネが幅を利かすロシアだが、モスクワ大学の入試だけはコネが効かないとのことである。この倍率は、ソ連崩壊前の水準を維持しているようで、学生の質も特に変化はないそうである。

このようなモスクワ大学での教育がどんな具合か、1996年の滞在中に授業や、学生実験室を見学した。300人以上入る大きな階段教室での1年生用の物理の授業を見せてもらった。授業中は講義だけでなく、TAの助けを借りた演示実験も行うものであった。90分ぐらいの講義時間であったが、途中5分程度の休憩をはさんだこと、学生が質問を小さな紙に書いてそれを前の学生に渡し、最後に教官へ渡されて、それに対し教官が答えることなどが目についた。

しかし、ロシア語の講義の内容の細かい点が

わからないこともあるが、特に際立った講義という感じではなかった。(講義をしていた教官は、共同研究者ではないが、研究分野が同じで知り合いであった。また、彼はロシアでの物理教育の会議の組織グループの一員であった。)学生実験は教官がついて丁寧に指導していた。学生実験に関しては、アメリカの姉妹校のひとつメイン州立大学、ルーマニアのヒッペリオン大学の物理の学生実験室を見せてもらったことがある。それらと比べると、指導にあたる教官の数は一番大きいようだった。大学の給料は必ずしも良くないのに、これだけの学生実験を維持していることには感心した。実験のテーマは基本的なものを幅広く行っており、道具自身は古いが良く手入れがされている感じであった。メイン州立大学の学生実験室は、コンピュータ上でいろいろな現象を見せたり、実験データが直接コンピュータに取り入れられたりして、ファンシーなものではあるが、データの誤差についての感覚や、測定の工夫の余地があまりないことなどで、学生実験として相応しくない面もあるのではないかという気がした。この点をメイン州立大学の物理の教官に尋ねたところ、そのような面のあることは理解しているが、コンピュータを多用した実験を揃えないと他の工学系の学科(物理工学科など)に学生をとられてしまい困るので、という返事であった。またヒッペリオン大学の学生実験室は、多くの手作りの装置が並んでいた。これらの学生実験室に

はそれぞれ特徴はあるが、モスクワ大学ほどの施設とスタッフのもとで学生実験ができる学生はうらやましいと思う。

ゆっくりと幅の広い教育を受けた物理の研究者は、私の印象では、30代後半さらに40代でいい仕事をする人が多い気がする。物理は比較的若い時期に良い仕事をする人が多いが、ロシアの場合年齢が高くても新しい良い仕事をする人が多いようだ。

他方アメリカの場合、ロシアに比べて、若くて良い仕事をする人が多いような気がするが、これは優秀な者がいればまわりはそれを後押しする雰囲気が有ることに由来する部分が大きい気がする。

教育は制度だけでなく、私の上げた事例だけで十分伝わらないかもしれないが、独自の「雰囲気」を持つことが重要であろう。

このように、独自の雰囲気をつくり出しているモスクワ大学の教育は、困難な時期にもかかわらず、その水準を維持しているが、大学の教員に若い人の補充がつかず、将来が心配である。物理の場合一番若い人の年齢は45歳である。

このような困難はあるが、このような独自の雰囲気を持つロシアの教育が続いていくことを願っている。

(くらまた しゅういち・国際交流センター長)

ニュージーランドのオタゴ大学と 大学間交流協定締結

この度、吉田学長とオタゴ大学グレン・フォゲルバーク学長が相互に「教育・研究に関する交流協定」並びに「学生交流に関する覚書」に署名され、平成12年9月20日をもって、両大学の大学間交流協定の調印が滞りなく終了しました。

オタゴ大学との交流は、本年3月、中村国際交流委員会委員長を団長とする本学調査団がUMAP（アジア太平洋大学交流機構）のオピニオンリーダーであるニュージーランドの大学との交流を視野に入れて同国を訪問し、国際交流のための現地調査を実施した結果、オタゴ大学の教育・研究環境が本学の学生、研究者の交流に最適であるとの結論にいたるとともに、その後、本年7月にオタゴ大学スミス副学長等が来学し、両大学間でどのような交流が可能か具体的な意見交換を行うとともに、医学部並びに同附属病院をはじめとする学内諸施設の視察を実施し、相互理解を深めたことがきっかけとなったものです。

オタゴ大学との大学間交流協定締結は、南半球としては最初の大学であり、本学と環太平洋諸国との国際交流が推進され、今後の教育・研究の発展並びに学生、研究者の活発な相互交流が期待されます。

なお、本学における大学間交流協定締結は、本年11月のタイ王国チェンマイ大学で12大学となりました。



▲協定書に署名する吉田学長（左）と同席する中村副学長（右）



◀オタゴ大学キャンパス（本部）

哈爾濱師範大学との 大学間交流協定を更新

この度、哈爾濱師範大学日本訪問団（陳述涛学長、王瑛琦国際交流処副処長、王宗杰外国語学部講師）が、北海道教育大学に引き続き、11月29日（水）来学され、吉田学長を表敬訪問するとともに、学長室において大学間交流協定を更新しました。

この更新には、水野副学長、中村副学長をはじめとする本学国際交流関係教職員が出席し、吉田学長と陳学長が「教育・研究に関する交流協定」及び「学生交流に関する覚書」に署名され、滞りなく終了しました。

今回の更新は、UTM、ボルドー第三大学に続く本学3校目の姉妹校として平成7年に協定締結以後5年間の協定期間満了に伴うもので、今年度新たに姉妹校となった延辺大学並びに鄭州大学とともに中国語文化圏との本学の国際交流はこれまで以上に推進され、今後益々の教育・研究の発展並びに学生、研究者の活発な相互交流が期待されます。



協定の更新に署名する吉田学長（右）と陳学長（中）



調印式後握手する両学長

フルブライトメモリアル基金米国教育者視察団が来学

フルブライト・メモリアル基金による米国教育者視察団20名が、11月21日(火)、弘前大学を訪問しました。

今回の訪問は、6月(大館市教育委員会受入)、10月(三沢市教育委員会受入)に続き3回目で、弘前市教育委員会が11月20日から11月29日まで受け入れたことに伴い来学したものです。



吉田学長を表敬訪問する米国教育者視察団

同日、吉田学長を表敬訪問し、学長から国立大学制度や国立大学を取り巻く情勢、本学の概要説明の後、同訪問団から弘前大学に対する様々な質問が寄せられました。

学長表敬訪問に引き続き、小澤教育学部長表敬訪問とともに、教育学部「発達心理学Ⅰ」の授業見学、附属養護学校見学、日本画の体験学習が行われました。



小澤教育学部長の学部概要説明



教育学部学生との懇談会

教育学部「発達心理学Ⅰ」の授業では教育学部学生と懇談し、日米の教員養成の制度の違いや今話題のチャータースクールについて情報交換をしました。

附属養護学校の見学では、養護学校の児童たちにとっては3回目の訪問ということもあり、積極的に同訪問団に英語で話しかけるなどリラックスしたムードでの訪問となりました。



英語で挨拶を交わす附属養護学校児童

教育学部美術教育講座蝦名助教授による日本画の体験学習では、墨と硯を使って墨を擦り、蝦名助教授及び美術科の学生の手助けを受け、色紙に日本画の作品を完成させていました。

同訪問団は、参加・体験型の弘前大学訪問に大変満足していたようでした。



完成した作品に印を押す蝦名助教授(中央)と米国教育者視察団

平成12年度日本学術会議東北地区会議主催の 「科学者との懇談会」及び「公開学術講演会」開催

平成12年度日本学術会議東北地区会議主催「科学者との懇談会」及び「公開学術講演会」が、本学と共催により11月28日、弘前大学創立50周年記念会館で開かれました。

日本学術会議は内閣総理大臣の所轄の下に置かれている「特別の機関」で、その組織の中に、地域の科学者との意志疎通を図るとともに、学術の振興に寄与することを目的として、全国を7つのブロックに分け地区会議を置いています。その一つである東北地区会議が、毎年東北6県のうち2県の地元の国立大学と共催して標記の懇談会等を開催しているもので、今年度は本学と秋田大学が共催大学となっています。

「科学者との懇談会」は、午前11時から、日本学術会議の吉田民人副会長、東北地区会議の久道茂代表幹事等5名の日本学術会議会員を始め、本学から吉田学長等14名が出席して行われ、5名の日本学術会議会員からの「最近の日本学術会議の活動等の報告」に続いて、

科学研究費補助金申請に係る情報交換、教育カリキュラムや地方の大学における学術振興を巡る諸問題等について活発な意見が交わされました。なお、本席には日本学術会議事務局、東北地区会議事務局、本学事務局が陪席しました。

また、午後1時30分から、同会館みちのくホールで公開学術講演会が行われ、学内外から約180名が出席しました。なお、講演内容は、次のとおりでした。

- 『近代科学の新編成：二度目の大きな科学革命』
日本学術会議副会長
日本学術会議第1部会員 吉田 民人氏
- 『保健・医療における安全学と医学判断学』
日本学術会議東北地区会議代表幹事
日本学術会議第7部会員
東北大学大学院医学系研究科長 久道 茂氏



「科学者との懇談会」で挨拶を述べる吉田学長



「学術講演会」で講演する吉田民人氏



「学術講演会」で講演する久道 茂氏

弘前大学入学試験に関する シンポジウム開催

弘前大学入学試験に関するシンポジウムが、青森県高等学校長協会と共催で「弘前大学の大学改革と入試―地域における高校教育と大学の役割をめぐって―」と題して、11月29日（水）に青森市のアラスカ会館において開催されました。

今回は、過去2回の本シンポジウムと昨年の中央教育審議会答申及び今年度の大学審議会答申を踏まえ、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」を標語とする本学の教育を実現するために、入学試験の在り方について高校側と大学側で意見交換を行い、これからの大学教育と地域における高校教育の在り方について改善を図ることを趣旨として開催されました。

高校側からは学校長の外、進路指導担当教諭及び保護者も参加し、大学側、県教育委員会、一般参加者、報道関係者を含め約90人が出席しました。

吉田学長と高校長協会長の鳴海青森高校長からの挨拶の後、中澤弘前大学人文学部教授の司会のもと、大学側3人、高校側3人のシンポジストからそれぞれ発言があり、シンポジストとフロアとのフリートーキングでは、約1時間半にわたり入試制度改革やアドミッションポリシーなどについて活発な意見交換が行われました。

最後に吉田学長から、参加者に対して一昨年度から三回わたり開催された本シンポジウムへの協力について謝辞があり閉会しました。



挨拶する吉田学長

セクシュアル・ハラスメント 防止講演会開催

12月4日（月）、創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する啓蒙活動の一環として「セクシュアル・ハラスメント防止講演会」が開催されました。

講演会では、水野副学長の挨拶に続き、青森労働局の佐々木雇用均等室長より「職場におけるセクシュアルハラスメントの防止について」と題する講演が行われ、男女雇用機会均等法の観点から、女性労働者就業意識等についてのアンケート結果を紹介しながら、職場におけるセクシュアル・ハラスメントの起こる原因やその背景、防止のために配慮すべき事項等について説明があり、引き続きビデオ「ストップ！職場のセクシュアルハラスメント―従業員編―」が上映され、130名を超える教職員、学生が熱心に聴講しました。



挨拶する水野副学長



講演する佐々木室長

平成12年度 医学教育等関係業務功労者表彰

文部省は、医学又は歯学に関する教育、研究若しくは患者診療等の補助的業務に関して、顕著な功労のあった方々を称える「平成12年度医学教育等関係業務功労者表彰」を発表し、本学からは、次の方々が表彰されました。

なお、表彰式は、11月28日（火）に東京都のホテルフロラシオン青山において行われました。

蝦 名 祐 一 氏

（医学部外科学第二講座 病理細菌技術員）

小 林 榮 子 氏

（医学部附属病院看護部 副看護婦長）

外国出張

官職	氏 名	渡 航 目 的	目 的 国	期 間
教 授 (人)	佐藤和之	トリア大学研究者との国際学術研究の打合せ及び資料収集のため	ドイツ連邦共和国	12.11. 6 ～ 12.11.18
助教授 (人)	原田悦雄	トリア大学研究者との国際学術研究の打合せ及び資料収集のため	ドイツ連邦共和国	12.11. 6 ～ 12.11.18
助教授 (人)	北島誓子	経済地理学国際会議出席のため (国際研究集会派遣研究員)	シンガポール共和国	12.12. 5 ～ 12.12. 9
教 授 (医)	兼子 直	第3回アジアオセアニアてんかん会議出席及び研究資料収集のため	イ ン ド	12.11. 9 ～ 12.11.14
助教授 (医)	中村光男	国際膵臓学会／アメリカ膵臓学会(アメリカ)及び国際糖尿病学会(メキシコ)出席のため	ア メ リ カ 合衆国 メ キ シ コ	12.11. 1 ～ 12.11.10
助教授 (医)	佐々木泰輔	2000年北米放射線学会出席のため	ア メ リ カ 合衆国	12.11.25 ～ 12.12. 3
助 手 (医)	竹内 功	第73回米国心臓病会議出席及び発表のため	アメリカ 合衆国	12.11.11 ～ 12.11.17

官職	氏 名	渡 航 目 的	目 的 国	期 間
助 手 (病)	丹藤雄介	国際膵臓学会／アメリカ膵臓学会(アメリカ)出席・発表及び国際糖尿病学会(メキシコ)出席のため	アメリカ 合衆国 メ キ シ コ	12.11. 1 ～ 12.11.10
助 手 (病)	富山誠彦	第30回米国神経科学会において研究資料収集のため	アメリカ 合衆国	12.11. 3 ～ 12.11.10
医 員 (病)	伊東和雄	第73回米国心臓病会議において研究資料収集のため	アメリカ 合衆国	12.11.11 ～ 12.11.17
医 員 (病)	横山 徹	研究資料収集のため	アメリカ 合衆国	12.11.27 ～ 12.12. 5
助 手 (理工)	長瀬智行	2000 International Symposium on Information Theory and Its Applicationsに出席し、研究発表のため	アメリカ 合衆国	12.11. 5 ～ 12.11.11
教 授 (理工)	古屋泰文	「複合機能化材料設計」に関する調査研究のため (科学研究費補助金)	韓 国	12.11.15 ～ 12.11.19
助教授 (理工)	宮永崇史	第2回不規則系国際会議に出席のため	イ ン ド	12.11.29 ～ 12.12. 8
助教授 (理工)	佐藤裕之	先端材料のプロセスと製造に関する国際会議 THERMEC'2000における研究発表および研究動向調査のため	アメリカ 合衆国	12.12. 3 ～ 12.12.13
教 授 (農生)	豊川好司	延辺大学等との研究交流促進に関する現地調査のため	中華人民 共和国	12.11.19 ～ 12.11.25
教 授 (農生)	澤田信一	調査・研究のため	アルゼ ンチン	12.11.18 ～ 12.12.17

諸 会 議

▼定例評議会

11月7日（火）

議 題

- 1 平成12年度教育研究基盤校費（留保分）配
分（案）について
- 2 弘前大学学長選考規則等の見直しについて

報告事項

- 1 教官人事報告
- 2 弘前大学運営諮問会議の開催について
- 3 委員会等報告
 - (1) 厚生補導委員会（10月18日）
 - (2) 教務委員会（10月31日）
 - (3) 国際交流委員会（10月27日）
 - (4) 共通教育運営委員会（10月24日）
- 4 その他

▼全学教育協議会

11月21日（火）

議 題

- 1 「弘前大学共通教育の見直しについて（答
申）」について
- 2 秋季入学の拡大について
- 3 平成13年度共通教育開設授業計画に係る
担当教官の確保について
- 4 北鷹寮の改装について
- 5 その他

報告事項

- 1 教務委員会報告
- 2 イノベーション・プログラム検討専門委員
会報告
- 3 平成12年度弘前大学FDシンポジウムに
ついて
- 4 その他

▼全学教育協議会共通教育改革専門委員会

11月22日（水）

議 題

- 1 「弘前大学共通教育の見直しについて（答
申）」に対する各学部等からの検討結果につ
いて
- 2 その他

11月30日（木）

議 題

- 1 「弘前大学共通教育の見直しについて（答
申）」に対する各学部等からの検討結果につ
いて

て

- 2 その他

▼将来計画委員会

11月21日（火）

議 題

- 1 長期総合計画について
- 2 名誉博士の称号授与について
- 3 行政財産の実態調査に係る処理計画につ
いて
- 4 その他

報 告

- 1 理念・目的に関する専門委員会報告
- 2 大学院博士課程設置検討委員会報告
- 3 その他

▼教員の任期に関する規則検討小委員会

11月13日（月）

議 題

- 1 教員の任期に関する規則について
- 2 その他

▼将来計画委員会理念・目的に関する専門委員会

11月9日（木）

議 題

- 1 理念・目的について
- 2 その他

11月16日（木）

議 題

- 1 理念・目的について
- 2 その他

11月27日（月）

議 題

- 1 理念・目的について
- 2 その他

▼将来計画委員会大学院博士課程設置検討委員会

11月16日（木）

議 題

- 1 文理融合型大学院博士課程設置構想につ
いて
- 2 その他

▼国際交流委員会

11月24日（金）

議 題

- 1 外国人留学生の指導の在り方について
- 2 国際交流委員会「ホームページ」の英文版

(案) について

- 3 平成13年度UTMからの研究者招へいについて
- 4 平成13年度哈爾濱師範大学からの研究者招へいについて
- 5 本学学生の休学留学中の取得単位の取扱いについて
- 6 その他

報告事項

- 1 弘前大学私費留学生就学援助金受給者について
- 2 チェンマイ大学との大学間交流協定の調印について
- 3 共通教育科目（日本語・日本事情）の国際交流科目への移行について
- 4 その他

▼情報公開検討委員会

11月30日（木）

議 題

- 1 情報公開対応について
- 2 その他

▼厚生補導委員会

11月14日（火）

議 題

- 1 平成12年度後期分授業料免除者の選考について
- 2 弘前大学授業料免除選考基準の改正について
- 3 平成12年度厚生補導研究協議会の実施について
- 4 平成12年度課外活動サークルリーダー研修会の実施について
- 5 その他

▼共通教育運営委員会

11月21日（火）

報告事項

- 1 評議会報告
- 2 全学教育協議会報告
- 3 教務委員会報告
- 4 21世紀における教養教育シンポジウムについて
- 5 点検改善専門委員会報告
- 6 カリキュラム専門委員会報告
- 7 医学部医学科とのカリキュラム改正に伴う話し合いについて

8 日本語・日本事情科目について

9 その他

議 題

- 1 新任教官等の分科会所属について
- 2 助手授業担当基準及びティーチング・アシスタント採用基準について
- 3 共通教育改革専門委員会答申について
- 4 その他

▼学寮委員会

11月28日（火）

議 題

- 1 北鷹寮の改修について
- 2 その他

▼体育施設運営委員会

11月30日（木）

議 題

- 1 大鰐山小屋の今後の在り方について
- 2 その他

▼総合情報処理センター運営委員会

11月13日（月）

議 題

- 1 専門委員会内規について
- 2 将来計画について
- 3 その他

報告事項

- 1 第15回学術および総合情報処理センター長会議報告
- 2 学内ギガビットネットワークの現状
- 3 その他

▼生涯学習教育研究センター運営委員会

11月20日（月）

議 題

- 1 平成12年度生涯学習教育研究センター年報について
- 2 平成13年度生涯学習教育研究センター事業計画（案）について

報告事項

- 1 公開講座「21世紀への旅立ち」（久慈市会場）について
- 2 大学等地域開放特別事業「楽しい科学」（主催：理工学部）について
- 3 市民講座（主催：医学部附属病院治験センター）について
- 4 「第12回大学開放の在り方に関する研究

会」及び「第6回生涯学習実務者協議会」について

5 その他

▼地域共同研究センター運営委員会

11月16日（木）

議 題

- 1 財団法人21あおもり産業総合支援センター新規RSP事業について
- 2 「青森ベンチャーフォーラム」支援について
- 3 CJRの将来計画について

4 その他

報 告

- 1 第4回青森糖質研究会シンポジウムの開催について
- 2 産学官連携シンポジウムについて
- 3 工業フェスティバル2000について
- 4 八戸市および秋田市における交流会について
- 5 21あおもり産業総合支援センターのデータベース調査員について
- 6 客員教授講演会について
- 7 その他

新任教授紹介

医 学 部



はな だ かつ み
花 田 勝 美
(専攻：皮膚科学)

花田国立弘前病院皮膚科医長が、平成12年12月1日付けで、医学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[転 任]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.12.1	厚生技官 (国立弘前病院皮膚科医長)	花 田 勝 美	文部教官 (弘前大学教授医学部)
〃	助 手 (医)	熊 野 高 行	厚生技官 (国立弘前病院)

[臨時的任用]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.21		葛 西 真喜子	文部技官 (弘前大学医学部附属病院看護部看護婦) に臨時的に任用する 任期は平成13年3月31日までとする

[併 任]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.12. 1	教 授 (医)	花 田 勝 美	弘前大学医学部附属病院皮膚科科長に併任する
〃	〃 (〃)	神 谷 晴 夫	弘前大学医学部附属動物実験施設長に併任する 併任の期間は平成14年11月30日までとする

[育児休業]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.21	看護婦 (病)	中 西 有紀恵	育児休業を承認する 育児休業の期間は平成12年11月21日から平成13年 3 月31日までとする

[復 職]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.16	事務官 (教育)	齋 藤 由 紀	職務に復帰した (平成12年11月16日)
12.12. 1	助 手 (医)	一 戸 学	職務に復帰した (平成12年12月 1 日)

[派 遣]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.15	助 手 (医)	遠 藤 哲	ジャマイカ国政府 (マンデビル) に派遣する 派遣の期間は平成12年11月15日から平成14年 2 月28日までとする

[退 職]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.16	事務官 (教育)	黒 滝 裕 子	平成12年11月15日限り任期満了により退職した

[命 免]

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
12.11.16	教 授 (医)	岩 崎 晃	弘前大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科主任を免ずる
〃	〃 (〃)	市 丸 俊 夫	弘前大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科主任を命ずる 任期は平成14年 3 月31日までとする

主 要 日 誌

- 11月6日 平成12年度「教員の資質向上連絡協議会」
(～7日 国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 7日 部局長等会議
評議会
弘前大学主催 平成12年度監督者研修
(JST基本コース)
(～10日 大学会館研修・交流室)
平成12年度北海道・東北地区国立大学等国際交流担当職員研修
(～10日 東北大学片平会館)
- 8日 平成12年度奨学金返還に関する説明会
- 9日 部長会議
事務協議会
第21回事務機構関係専門部会
理念・目的に関する専門委員会(第6回)
国家公務員Ⅲ種面接(～10日)
第21回国立大学等研究協力部課長会議
(～10日 北陸先端科学技術大学院大学)
第28回国立大学医療技術短期大学部部長・事務長会議(～10日 鳥取大学)
- 10日 公務員採用試験ガイダンス
(共通教育棟401講義室)
総合情報処理センター運営委員会技術専門委員会
平成12年度日本教育大学協会新課程連絡協議会(宮城教育大学)
第16回遺伝子実験施設連絡会議(高知大学)
青森県高等教育機関図書館協議会役員会
- 11日 平成12年度農学生命科学部公開講座
(第1日目)
- 13日 教員の任期に関する規則検討小委員会
総合情報処理センター運営委員会
第32回東北地区中堅係員研修
(～17日 人事院東北事務局)
- 14日 厚生補導委員会
総合情報処理センター運営委員会VOD専門委員会
医学系出身国立大学長懇談会
(東京ガーデンパレス)
- 15日 第107回国立大学協会総会(～16日 如水会館)
平成12年度国立学校等幹部職員研修(部長級)(～17日 国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 平成12年度国立大学教務事務担当職員研修会(～17日 国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 16日 第2回大学院博士課程設置検討委員会
地域共同研究センター運営委員会
理念・目的に関する専門委員会(第7回)
国立14大学病院長会議(～17日 琉球大学)
- 17日 退職準備説明会(創立50周年記念会館)
教員採用試験ガイダンス
(共通教育棟201講義室)
第74回国立大学協会事務連絡会議(学士会館)
第133回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会(岩手大学)
- 18日 平成12年度農学生命科学部公開講座
(第2日目)
- 20日 生涯学習教育研究センター運営委員会
21世紀戦略会議
平成12年度留学生担当者研修会
(～22日 国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 21日 将来計画委員会
全学教育協議会
共通教育運営委員会
学長懇話会
- 22日 平成12年度弘前大学永年勤続者表彰式並びに文部省永年勤続者表彰状伝達式
(創立50周年記念会館みちのくホール)
全学教育協議会共通教育改革専門委員会
- 24日 国際交流委員会
平成12年度生物共生教育研究センター
(金木農場)公開講座(～25日 金木農場)
「大学の自律と政府の役割」国際シンポジウム(学術総合センター・東京)
平成13年度メンタルヘルス研究協議会北海道・東北地区実行委員会(創立50周年記念会館)
- 25日 平成12年度農学生命科学部公開講座
(第3日目)
- 27日 理念・目的に関する専門委員会(第8回)
第7回遺伝子実験施設シンポジウム
平成12年度国有財産処分等に関する研究会
(～29日 北海道大学)
- 28日 第2回就職活動のためのインターネットセミナー(大学会館就職情報資料室)
学寮委員会
平成12年度日本学術会議東北地区会議

(11:00 「科学者との懇談会」

13:30 「公開学術講演会」

創立50周年記念会館)

任用実務担当者研修会 (事例編)

(人事院東北事務局主催, 仙台第2合同庁舎)

平成12年度医学教育等関係業務功労者表彰式 (ホテルフロラシオン青山)

29日 平成12年度農場収穫祭

北海道警察官採用試験説明会

(共通教育棟201講義室)

弘前大学入学試験に関するシンポジウム

(青森市 アラスカ会館)

30日 体育施設運営委員会

情報公開検討委員会

全学教育協議会共通教育改革専門委員会

総合情報処理センター運営委員会ネット

ワーク専門委員会

平成12年度国立大学国際交流課長等連絡協議会 (広島ガーデンパレス)

メンタルヘルス講習会

(~12月1日人事院東北事務局)

12月1日 平成13年度弘前大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻特別選抜 (推薦入学) 試験

2日 平成12年度農学生命科学部公開講座 (最終日)

3日 北東北3大学連携推進会議 (秋田大学)

4日 平成12年度弘前大学係長研修

(~6日 大学会館 研修・交流室)

セクシュアル・ハラスメント防止講演会

総合情報処理センター運営委員会技術専門委員会

主要行事予定

▼事務局

1月4日 推薦入学願書受付 (~10日 医学部)

20日 大学入試センター試験 (~21日)

28日 弘前大学職員スキー教室・温泉保養

29日 一般選抜, 私費外国人留学生入学願書受付 (~2月6日)

▼医学部・附属病院

2月1日 全国国立大学病院「東北・北海道地区」病院長会議 (秋田大学)

▼農学生命科学部

1月12日 第134回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会 (岩手大学)

▼医療技術短期大学部

1月31日 平成13年度弘前大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻一般選抜学力検査

▼附属図書館

1月25日 平成12年度国立大学附属図書館事務部長会議 (徳島大学)

学 内 規 則

○弘前大学医学部附属病院諸料金規則の一部改正

(平成12年11月8日制定, 規則第84号)

国立大学附属病院諸料金規程準則及びその解説に基づき, 本院における健康保険法上の患者紹介率が50%以上になったことに伴い, 200床以上の病院における紹介なし患者の初診時負担額を改訂するため, 所要の改正を行った。

(施行日 平成12年11月8日)

「弘前大学における教員の任期に関する規則」の制定について

平成12年12月12日開催の評議会において、「弘前大学における教員の任期に関する規則」が下記のとおり承認され、同日付けで制定されました。

弘前大学における教員の任期に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、大学の教員等の任期に関する法律（平成9年法律第82号。以下「法」という。）第3条第1項の規定に基づき、弘前大学における教員の任期に関し、必要な事項を定める。

(任期を定めて任用する教員の職等)

第2条 任期を定めて任用する教員の職等は、別表に定めるとおりとする。

(任用される者の同意)

第3条 任期を定めて任用する場合には、文書により、当該任用される者の同意を得なければならない。

(公表)

第4条 この規則を制定又は改廃したときは、弘前大学学報への掲載等により公表し、広く周知を図るものとする。

附 則

- この規則は、平成13年4月1日から施行し、同日以降に任用される者について適用する。
- 医学部附属脳神経血管病態研究施設に任用される教員のうち、教授並びに平成14年4月2日以降に任用される助教授及び講師並びに平成16年4月2日以降に任用される助手の任期は、第2条の規定にかかわらず、平成21年3月31日までとする。

別表（第2条関係）

任 期 を 定 め て 任 用 す る 教 員 の 職 等

教 育 研 究 組 織 等		職 名	任 期	再任に関する事項	根 拠 規 定
部局等名	学科、講座、研究部門等				
医 学 部	医学科の全講座	教 授	10年	再任は1回限りとする。ただし、特別の事情のある場合は、再々任を認めることがある。	法第4条第1項第1号
	附属動物実験施設				
	附属脳神経血管病態研究施設の全部門（細胞工学部門を除く。）	助教授	7年		
	附属病院の全診療科	講 師	7年		
	附属病院の全中央診療施設等				
	附属病院の薬剤部	助 手	5年		

弘前大学大鰐山小屋（ヒュッテ）廃止のお知らせ

大鰐温泉スキー場内にある弘前大学大鰐山小屋（ヒュッテ）は、昭和31年に建築され、築後45年を経過しました。

建築当時から、スキー授業、課外活動、職員のレクリエーションなどにと多数の職員、学生などが利用してきましたが、老朽化も甚だしく、また、利用者も少なく、かつ、今後の利用者増が見込める周辺状況にないなどのことから、平成13年3月末をもって廃止することになりましたので、お知らせします。

弘前大学学報 第575号

平成12年（2000年）12月25日発行

編集発行

弘前大学総務部総務課

036-8560 弘前市文京町1

電話（0172）36—2 1 1 1